

## 4-3

# キーワード検索で実際に検索してみよう

キーワード検索はもっとも簡単な検索方法です。利用方法を間違わなければ、キーワード検索だけでもかなり精度のよい検索ができます。頻繁に利用することになりますので、まずはこの検索方法をマスターしてください。本節ではJ-PlatPatを用いたキーワード検索について具体例を用いて説明します。

## ● 初めに検索するキーワードを決める

「イチゴを含む大福型アイス」に関する発明をしたとします。この発明について先行技術調査を行ってみましょう。

キーワード検索では、発明を表すキーワードをいくつか挙げて、これを用いて検索します。「イチゴを含む大福型アイス」を表すキーワードは何でしょうか？ 思いつくキーワードとしては「イチゴ」「アイス」「もち」が挙げられると思います。

ここで多くの方は、単にこの3つのキーワードのみを用いて検索してしまいます。しかし、それではあまりにも不十分です。それはキーワード検索の場合、原則としてキーワードに完全に一致する文言「のみ」が検索されるからです。たとえば「イチゴ」で検索すると、「いちご」や「苺」と記載されている文献はヒットしないのです。

そこで、上記の3つのキーワードの各々について、別表記や、同じ意味であって異なる単語（同義語）を考えてみます。そうすると、たとえば「イチゴ」については「いちご」「苺」が挙げられます。また、「アイス」については「冷菓」、「もち」については「モチ」「餅」「大福」が考えつくと思います。

そして、「イチゴ」または「いちご」または「苺」を含み、かつ「アイス」または「冷菓」を含み、かつ「もち」または「モチ」または「餅」または「大福」を含む先行技術文献を検索します。このようにすることで検索の精度を大幅に高めることができます。

なお、同義語は、そのキーワードについて辞書やインターネットの検索エンジンを用いて調べると見つけやすいと思います。

## ● J-PlatPatを用いたキーワード検索の具体例

それでは上記の方針で、J-PlatPatを用いて具体的にキーワード検索を行ってみましょう。

①特許庁のHPから特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）へ入ります。



②J-PlatPatのトップページが開いたら、検索メニューの「特許・実用新案」をクリックします。



※ J-PlatPatは（独）工業所有権情報・研修館が運営、管理するサイトです。